

第七十六回  
帝國議會  
貴族院

# 恩給法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

## 付託議案

恩給法中改正法律案(政)  
義務教育費國庫負擔法中改正法律案(政)  
小學校令ノ改正ニ伴フ恩給法等ノ規定ノ整理ニ關スル法律案(政)

## 委員氏名

- |      |          |
|------|----------|
| 委員長  | 公爵鷹司 信輔君 |
| 副委員長 | 下村 宏君    |
|      | 子爵錦小路頼孝君 |
|      | 男爵千秋 季隆君 |
|      | 岡 喜七郎君   |
|      | 男爵高崎 弓彦君 |
|      | 岡田 文次君   |
|      | 塩田 團平君   |
|      | 米原 章三君   |

昭和十六年二月十八日(火曜日)午前十時  
十三分開會

## ○委員長(公爵鷹司信輔君) ソレデハ開會致シマス、只今法制局ノ方ノ方ガ閣議デ御出席出來ナイトノコトデゴザイマスカラ、

文部省ノ方カラ御説明願ヒマス

## ○政府委員(菊池豊三郎君) 義務教育費國庫負擔法中改正法律案及小學校令ノ改正ニ伴フ恩給法等ノ規定ノ整理ニ關シマスル法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、政府

ニ於キマシテハ小學校令ヲ國民學校令ニ改正致シマシテ、昭和十六年四月一日カラ之ヲ實施スル豫定ノ下ニ、目下其ノ準備ヲ進メテ居ルノデゴザイマスカ、義務教育費國庫負擔法及恩給法其ノ他ノ法律中ニ於キマシテ、現行ノ小學校令ノ規定ヲ引用致シテ

居リマスル條文等ニ付キマシテ、ソレトノ之ヲ國民學校令ノ規定ニ置キ換ヘマスル等條文其ノ他ノ整理ヲ必要トスル點ガアルノデゴザイマス、即チ現行ノ義務教育費國庫負擔法ニ於キマシテハ、市町村立尋常小學校ノ教員(代用教員ヲ含ム)ノ其ノ俸給ノ爲ニ北海道地方費及府縣ニ於テ要スル經費ノ半額ハ國庫之ヲ負擔スルコトニナツテ居リマシテ、其ノ中、代用教員ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトニナツテ居リマスルガ、今回之ヲ國民學校ノ職員ノ俸給ニ對シテ、國庫ガ其ノ半額ヲ負擔スルコトニスルノデアリマスルガ、新制度ニ於テ新タニ置クコトガ出來ルヤウニナリマシタ養護訓導及特修科ノ教員ノ俸給ニ對シマシテハ、之ヲ除外スル豫定デアリマス、而シテ此ノ制度ハ昭和十八年度迄ハ現行ノ儘デアリマシテ、義務教育ノ年限ガ延長セラレマスル所ノ昭和十九年度カラ新法ガ適用サル、コトニナルノデアリマス、又小學校令ノ改正ニ伴フ恩給法等ノ規定ノ整理ニ關スル法律案ハ、小學校令ノ改正ニ依リマシテ、現行法ノ中デ「小學校」トアリマスルノ「國民學校」ト致シマス、ソレカラ「市町村立小學校正教員」トアリマスルノ「國民學校訓導」ト改メマスル等、必要已ムラ得ナイ程度ノ整理ヲ致サウトスルモノデアリマス、大體ニ付キマシテ御説明ヲ致シマス

○子爵錦小路頼孝君 國民學校令ノ條文ト云フモノガ、モウ御出來ニナツテ居ルダラウト思フノデゴザイマスカレドモ、若シ拜見出來ルモノデシタラ拜見シタイト思ヒマスカ、如何デゴザイマセウ

○政府委員(菊池豊三郎君) 實ハ只今申上ゲマシタ現行ノ小學校令ヲ全部改正致シマシテ、國民學校令ニ改メルモノデゴザイマスカ、此ノ國民學校令ノ改正ハ、目下樞密院ニ御諮詢ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、樞密院ニ於カレマシテモ審査委員會ヲ數回御催シニナリマシテ、審査委員會モ既ニ御濟ミニナリマシテ、實ハ明日ノ定例本會議デ最後ノ御審議ガアル豫定ニナツテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、就キマシテハ國民學校令デ大體ドウ云フ風ニ改正ニナリ、ドウ云フ風ニナルカト云フコトニ付キマシテ、此ノ機會ニ大體骨子ヲ御説明申上ゲタイト思ヒマス、國民學校ノ制度ノ實施ノ要綱ニ付キマシテ概略申上ゲタイト思ヒマス、第一ニハ、昭和十六年四月一日カラ小學校ヲ國民學校ニ改メルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ第二ニ、國民學校ハ皇國ノ道ニ則ツテ初等普通教育ヲ施シ、國民ノ基礎的鍊成ヲ爲スヲ以テ目的トスルト云フコトヲ第一條ニ規定致スノデアリマス、之ガ國民學校ノ根本精神ヲ謳ヒマシタモノデゴザイマシテ、此ノ精神ニ依ツテ學科内容、教授運用ガ行ハレルト云フ基本ヲ示サレタノデゴザイマス、ソレカラ第三ニハ、國民學校ニ初等科及高等

科ヲ置クコトヲナツテ居リマス、但シ土地ノ狀況ニ依リマシテ、初等科又ハ高等科ノミノ國民學校ヲ置クコトガ出來ルト云フ途ガ定メラレテ居ルノデアリマス、チヨット茲デ御説明申上ゲマスガ、國民學校ノ初等科ハ即チ今日ノ尋常高等小學校ノ尋常科ニ當ルモノデゴザイマス、ソレカラ高等科ハ今日ノ高等小學校ノ部分ニ當ルモノデゴザイマス、次ニ初等科ノ修業年限ハ六年、ソレカラ高等科ノ修業年限ハ二年トスルコトデアリマス、此ノ修業年限ノ區切りニ於キマシテハ、今日ノ小學校ト變リハゴザイマセヌ、次ニ國民學校ニ高等科ヲ修了致シマシタ者ノ爲ニ、修業年限一年ノ特修科ヲ置クコトガ出來ルト云フコトヲ規定サレテ居リマス、ソレカラ次ニハ、初等科高等科ニ於キマス所ノ教科ノ内容デゴザイマス、初等科ノ教科ハ國民科、理數科、體鍊科及ビ藝能科、四教科ヲ置カレルコトニナツテ居リマス、ソレカラ高等科ノ教科ハ國民科、實業科、理數科、體鍊科及ビ藝能科、五ツノ教科ガ置カレルコトニナツテ居リマス、ソレカラ其ノ次ニ義務教育ノコトニ關シテ申上ゲマス、保護者ハ兒童ガ滿六歳ニ達シマシタ目ノ翌日以後ニ於ケル最初ノ學年ノ初メカラ、滿十四歳ニ達シタル日ノ屬スル學年ノ終迄、之ヲ國民學校ニ就學セシムルノ義務アルモノトスルコトデアリマス、此ノ點ガ即チ御承知ノヤウニ今日尋常小學校ノ六年ガ義務教育トナツテ居リマスノヲ更ニ二年、即チ今日ノ高等小學校ニ該當スル所迄二年義務教育

ヲ延長スル、即チ滿十四歳ニ達スル其ノ學年ノ終迄、之ヲ國民學校ニ就學セシムルコト云フ義務ガアルト云フコトヲ規定致スノデゴザイマス、之ガ即チ義務教育年限延長ノ内容ヲナス規定デゴザイマス、其ノ次ニ就學ノ猶豫、免除ノ規定ニ關スルコトデゴザイマス、就學セシムベキ兒童ガ風癩白痴又ハ不具癱瘓等ノ爲ニ、之ヲ就學セシムルコトガ出來ナイト認メマス時ニハ、保護者ノ義務ヲ免除スルコトガ出來ル、之ガ就學義務ノ免除ニ關スルコトデアリマス、サウ云フ條件ノヤウナ場合ニハ保護者ノ義務ヲ免除スル、ソレカラ次ニ猶豫ニ關スルコトデアリマス、學齡兒童ガ病弱又ハ發育不完全其ノ他已ムヲ得ナイ事由ニ依リマシテ、就學ノ時期ニ於テ就學セシムルコトガ困難ト認メマス時ニハ、其ノ就學ヲ猶豫スルコトガ出來ルコト云フ規定デゴザイマス、是ハ現在ノ小學校令ニ於キマシテモ、大體斯ウ云フ規定ハ存シテ居ルノデゴザイマスルガ、國民學校制度ノ場合ニ於キマシテハ、現行ノ小學校ト著シク違フ點ハ、此ノ就學猶豫、免除ニ付キマシテ、保護者ガ貧困ノ爲ニ就學義務ノ免除又ハ猶豫ヲ受ケルコト云フコトコトデアリマス、御承知ノヤウニ義務教育ハ、廣ク一般國民ノ其ノ年齡該當ノ者ニ對シテ普ク教育ヲ施シテ、國民トシテノ、皇國臣民トシテノ基礎的鍊成ヲ此處デ致スト云フ趣旨デアリマスルカラシテ、出來ルダケ餘程ノ特殊ノ事情ガナイ限りハ、其ノ就學ヲ萬遍ナク徹底スルコト云フコトガ必要デアリマス、從ツテ其ノ保護者ガ貧窮ノ爲ニ、其ノ子供ヲ學校ニ就學セシムルコトガ出來ナイト云フヤウナコトハ、是ハ國家トシテ

モ忍ブベカラザルコトデアリマス、從ツテ貧窮ト云フダケノ理由ヲ以テ就學義務ノ免除又ハ猶豫ヲ認メナイ、其ノ代リ之ニ對スル必要ヲ施設ハ講ジナケレバナラスト思ヒマス、即チ就學獎勵ノ方法ト致シマシテ、就學獎勵費ヲ國、市町村等ヨリ財政的援助ヲ致シマシテ、サウシテ就學ヲスル上ニ於テサウ云フ點ノ不便ナカラシムルヤウニ國家トシテ努メ、市町村等ノ公ノ團體ニ十分ニ力ヲ盡サセネバナラスト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ次ニハ、國民學校ニ於ケル職員ノ組織ノ問題デゴザイマス、國民學校ニハ學校長及ビ訓導ヲ置キマスル外、是ハモウ現行ノ小學校デモ同様デゴザイマス、其ノ外今度ハ新タニ教頭、ソレカラ養護訓導、ソレカラ准訓導ヲ置クト云フコトニ致シテ居リマス、此ノ教頭ト養護訓導ト云フノハ、新タニ規定セラレマスル所ノモノデゴザイマス、准訓導ハ現在ニ於テモ小學校ニ正教員、准教員ト云フヤウニ、訓導ト准訓導、是ハ現在デモゴザイマス、此ノ學校長及ビ教頭ハ、其ノ學校ノ訓導ノ中カラ補スルコト云フコトニ致シマス、ソレカラ訓導ト養護訓導ハ判任官ノ待遇ト致シマス、是ハ現行ニ於キマシテモ判任官ノ待遇、官等ハ判任官ノ待遇トナツテ居リマス、次ニハ學校長又ハ教頭タル訓導ハ、奏任官ノ待遇トナスコトガ出來ルコト云フコトニ規定セラレルノデゴザイマスガ、現行ニ於キマシテモ、其ノ學校長ハ、或年限其ノ他ノ條件ヲ備ヘマスルト、相當數奏任待遇ニナスコトガ出來ル、之ヲ稍、範圍ヲ擴メルト云フ點ガ一ツト、今一ツハ學校長デナイ訓導ノ中デモ、教頭デアルト云フ訓導ハ、是ハ相當條件ノ下ニ奏任待遇ニナシ得ルト云フ

途ヲ開カムトスルモノデアリマス、ソレカラ次ニ奏任待遇ノ程度ノ問題デアリマスガ、奏任待遇ノ學校長ノ官等ハ、高等官五等乃至八等ト致シマスルガ、高等官五等ノ待遇ヲ受ケテ、在職三年以上ニ至ツテ、功績アル者ハ、特ニ高等官四等ノ待遇トナスコトガ出來ル、現行ニ於キマシテハ最高ガ五等ノ待遇デアリマス、之ヲ高等官四等ノ待遇迄ナシ得ルト云フヤウニ今度改メラレル豫定デゴザイマス、次ニ此ノ國民學校ノ設置ハ、是ハ大體現行ノ小學校ト同ジヤウニ、市町村ガ設置ノ義務ヲ持ツテ居リマス、其ノ設置義務ノ特別ノ場合ニ免除サレルヤウナコト、其ノ他學校ノ組合、兒童教育事務ノ委託等ニ關スルコトハ、大體現行ノ小學校ノ例ニ依ツテ居リマス、ソレカラ國民學校ニ於キマシテハ、授業料ヲ徴收シナイト云フコトヲ本質ト致シマス、特別ノ事情アルトキハ、地方長官ノ認可ヲ受ケテ之ヲ徴收スルコトガ出來ル、斯ウ云フヤウナ大體ノ骨子デゴザイマスガ、ソコデ此ノ先程申上ゲマシタ義務教育年限延長ニ該當スル、詰リ國民學校高等科二年ノ義務ノ實施ハ、ソレデハ何時カラ之ヲ實施スルノカト申シマスルト、其ノ點ハ國民學校令其ノモノハ、昭和十六年四月一日カラ之ヲ實施スルノデアリマスルガ、義務教育年限延長ハ昭和十九年四月一日カラ之ヲ實施スルト、其ノ間三年バカリ茲ニ猶豫期間ガアル譯デゴザイマス、即チ昭和十九年四月一日カラ國民學校高等科第一學年ガ義務教育ニナリマス、ソレカラ翌年ノ昭和二十年ニナリマシテ、國民學校高等科ノ二年迄義務ニナリ、十九年、二十年、茲デ義務教育年限延長ヲ完全ニ實施スル、ソレ迄ニハ、二三年バカリノ猶豫期間ガ

アルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ今一ツ申上ゲテ置キタイコトハ、然ラバ那樣ナ風ニシテ國民學校ノ制度ガ變ルトナレバ、教科書ハドウスルカト云フ點ガ一ツ、ソレカラ先生ハドウスルカト云フノガ今一點デアリマス、其ノ教科書ニ付キマシテハ昭和十五年度即チ本年度デゴザイマスガ、本年度ニ於キマシテハ只今申上ゲマシタ初等科ノ第一學年及ビ第二學年、二箇年分ノモノヲ編纂致シマシテ、サウシテ此ノ十六年度カラ之ヲ使用セシメル、ソレカラ第三學年以上ノモノハ、昭和十六年以降大體毎年二學年ヅ、ヲ編纂スルコトト致シマシタ、從ツテ昭和十六年度カラ第三學年以上ノ學年ニアリマシテハ、現行ノ教科書ヲ使用致シマシテ、新制度ノ精神ニ依テ教育スルト、經過的ニハサウ云フ調節ヲ圖ツテ參リタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ先生ハドウスルカ、先生ニ付キマシテハ、此ノ義務教育年限延長ノ實現致シマスル昭和十九年度ヨリ其ノ前ニ、必要ナ教員ノ増加ヲ圖ラナケレバナライ、ソレハ十七年度カラ所要ノ増募ヲ致スト云フ豫定デゴザイマスルガ、唯現在ニ於キマシテハ、只今申シマシタヤウニ昭和十六年四月一日カラ國民學校制度ガ實施セラレルノデゴザイマスカラ、之ニ必要ナ内容の訓練ヲ致シテ參ラナケレバナリマセス、之ニ付キマシテハ大體十五年度、即チ今年度カラ教員ノ再教育講習ヲ全國ニ實施シテ、其ノ備ヘ、其ノ用意ヲ致シツ、アリマス、尙此ノ教員ノ再教育講習ハ、今後五箇年間ニ互リマシテ全國ノ小學校ノ教員ノ約半數以上ガ、此ノ新制度ノ精神ガ能ク傳ハツテ徹底スルヤウニ再教育講習ヲ實施シテ參リタイ、斯ウ云フ豫定ノ下ニ進ミツ、ゴザイ

マス、極ク大體ノ概略デゴザイマスガ、御説明申上ゲマシタ次第デアリマス

○米原章三君 私ハ資料ノ御提出ヲ御願ヒシマス、本委員會ノ衆議院ニ御提出ニナリマシタ資料ヲ御願ヒ致シマス、尙御面倒デスガ、道府縣別ニ言聲啞教育ノ學校ノ數ソレカラ生徒數、教員ノ平均俸給、之ノ資料ヲ頂戴シタイト思ヒマス

○男爵高崎弓彦君 今一番初メニ國民學校ノ御話ガアリマシタガ、何カ規則ノヤウナモノヲ一番初メニ言ハレマシタガ、ドウ云フ意味カモウ一遍言ッテ戴キタイ、一番初メ聽キ漏ラシタガ、國民學校ノ國民ノ基礎的教育鍊成ヲ爲ストカ云フ、其ノ前ノ所ヲチヨット……

○政府委員(菊池豊三郎君) 一番先ニ申上ゲマシタノハ、國民學校令ニ定メラレマスル所ノ國民學校ノ目的ト云フコトヲ、ドウ云フ風ニ規定シテ居ルカト云フコトヲ申上ゲタ其ノ點デアラウカト存ジマス、國民學校ハ皇國ノ道ニ則ッテ初等普通教育ヲ施シ、國民ノ基礎的鍊成ヲナスヲ以テ目的トスルト云フコトガ、マア國民學校ノ根本トナル、其ノ目的ヲ以テ規定シタ條項デアルト云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマス

○男爵高崎弓彦君 分リマシタ  
○委員長(公野鷹司信輔君) ソレデハ御諮リ致シマスケレドモ、法制局長官モ御見エニナリマシタデスカラ、恩給法ノ御説明ヲ願ッテ置キタイト思ヒマスガ、如何デセウカ

○政府委員(村瀬直養君) ソレデハ恩給法中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲタイト存ジマス、恩給法改正法律案ノ改正ノ第一ノ點ハ、傷病年金ニ關スル恩給法第四

十六條ノ二ノ規定ト、ソレカラ傷病賜金ニ關スル第六十六條ノ規定ノ改正デゴザイマス、現行ノ第四十六條ノ二ノ規定ニ依リマスルト、下士官以下ノ軍人ニ付キマシテハ、其ノ者ガ公務ノ爲ニ永續性ヲ有スル傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ、不具廢疾ノ程度ニナラナクトモ、勅令ノ定ムル程度ニ達シ、サウシテ失格原因ナクシテ之ガ爲ニ其ノ職ニ堪ヘズニ一年以内ニ退職シタルトキ、又ハ退職後三年以内ニ之ガ爲ニ一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレタトキニ限り傷病年金ヲ給スルコトト致シ、傷病賜金ニ關スル第六十六條ノ規定モ大體同様ナ條件ヲ規定シテ居ルノデゴザイマスガ、陸海軍ニ於キマシテハ、今同ノ支那事變ヲ契機ト致シマシテ、下士官以下ノ軍人ガ公務ノ爲ニ傷ヲ受ケタリ、又ハ病氣ニ罹リマシタ場合デモ、傷病年金ヲ傷病賜金ヲ受クル程度ノ傷病デハ、退職セシメタリ、又ハ兵役ヲ免ズルト云フヤウナコトハ殆ドシナイコトト相成リマシタノデ、前ニ申上ゲマシタ條件デハ、事實上傷病年金ヲ傷病賜金ヲ受ケラレナイ者モ出來マシテ、折角ノ制度モ完全ニ運用セラレナクナリマシタノデ、下士官以下ノ軍人ニ限りマシテ、右ノ特別ナ條件ヲ撤廢致シ、其ノ軍人ガ兵役免除ニナラナクトモ、傷病ノ程度ヲ査定致シマシテ、傷病年金ヲ給スルコトトシ、又傷病賜金モ、大體ニ準ジテ給スルコトト致シタノデアリマス、而シテ第四十六條ノ二ノ改正規定ハ、本法施行後退職致シマスル者ノミニ適用セラレルノデアリマスガ、陸海軍デハ前ニ申述ベマシタ如ク、今回ノ支那事變ヲ契機ト致シマシテ、退職又ハ兵役免除ヲ制限スルコトニ相成リマシタノデ、事變ノ勃發致シマ

シタ昭和十二年七月七日以後、本法施行前ニ、現役滿期等デ退職致シマシタ者ハ、第四十六條ノ二ノ改正ダケデハ恩給ノ恩典ニ與リ得ナイ結果ト相成リマス、併シナガラ是ハ明カニ均衡ヲ失シマスルノデ、新タニ附則第三條ノ規定ヲ設ケマシテ、斯カル者ニモ傷病ノ程度ヲ査定致シマシテ、將來ニ向ッテ傷病年金ヲ給スルコトト致シタノデアリマス、次ハ、陸軍ニ於キマシテハ、昨年九月十五日ニ上等兵ノ上、ソレカラ伍長ノ下ニ新タニ「兵長」ト云フ一ツノ等級ヲ設ケマシタガ、是ハ大體從來ノ所謂伍長勤務上等兵ニ當ルモノト考ヘラレ、海軍デ申シマスルト、海軍一等兵ト云フ程度ノ等級デア

ルノデアリマス、ソレデ恩給法別表ヲ改正致シマシテ、階等相當ノ恩給ヲ給シマスル爲ニ、新タニ恩給算出ノ基礎デアリマスル假定俸給ヲ扶助料算定ノ率ヲ定メルコトト致シタノデアリマス、又司法部内ニ於キマシテハ、過般看守ノ上、看守長ノ下ニ新タニ「副看守長」ト云フ中間的ノ官ヲ設ケマシ

タ、是ハ官制上ハ判任官程度ノ文官デアリマスガ、其ノ實質上ノ職務ハ、大體看守ノ延長トモ謂フベキ職務、即チ勞務ヲ主トスル勤務デアリマスルシ、旁、是ト類似ノ警部補ガ、恩給法上ハ警察監獄職員トシテ取扱ハレテ居リマスル關係モアリマスルノデ、此ノ副看守長ヲ恩給法上ハ文官トシテ取扱ハズニ、警察監獄職員トシテ取扱ヒ、警部補同様在職年十二年デ恩給ヲ給スルコトトシ、此ノ爲ニ現行法ノ第二十三條、第二十五條及第二十六條ヲ改正スルコトト致シマシタ、尙前ニ申述ベマシタヤウニ陸軍ノ「兵長」ハ昨年九月十五日設ケラレマシタカラ、附則第一條ニ於キマシテ同日カラ改正

法ヲ適用スルコトト致シマシタ、又同じ上等兵トシテ在職致シナガラ、昨年九月十五日以前ニ戰死シテ伍長ニナリマシタリ、又伍長ニナッテ退職致シマシタル者ハ、大體伍長トシテノ恩給ヲ受ケラレマスルガ、同日以後戰死シテ兵長ニナツタリ、兵長ニナツテ退職致シマシタル者ハ、上等兵ト伍長トノ間ニ新タニ兵長ナル等級ガ在シマスル關係上、直チニ伍長ノ恩給ヲ受ケルコトガ出來ナクナリ、兩者ノ間ニ稍、均衡ガ取レナクナリマスルノデ、本法施行前ニ兵長ヲ命ゼラレテ退職シ又ハ死亡致シマシタ者ハ、其ノ兵長ノ在職年月數ヲ伍長トシテ在職シタ年月數ト看做シマシテ、恩給額ノ權衡ノ取レマスルヤウニ經過規定ヲ一條設ケマシ

タ、附則第四條ノ規定ガ即チソレデゴザイマス、次ニ現行法第八十條第二項ハ、事實上婚姻關係同様ノ事情ニアル扶助料受給者ニ付キマシテハ、裁定官廳ハ恩給審査會ニ諮問ノ上、其ノ者ノ扶助料權ヲ喪失セシメルコトトガ出來ルコトトナッテ居ルノデアリマスガ、裁定官廳ガ單獨ニ失權處分ヲ致シマシテモ、之ニ不服ナルトキハ行政訴訟又ハ訴願ヲ爲スノ規定ガアリマシテ、訴願ノ裁決案ハ、恩給法第十五條ノ規定ニ依ッテ恩給審査會ニ諮問セラレマスルカラ、失權處分ヲ爲シマスル場合ニ恩給審査會ニ諮問スル必要モナイト、斯様ニ考ヘマスルノデ、事務簡捷ノ爲ニ、第八十條第二項カラ恩給審査會ニ諮問スルト云フ事項ヲ削除致シマシタ、又兵役法等ノ改正デ、陸海軍人ノ後備役ト云フ制度ガ廢止セラレマスノデ、恩給法第二十一條カラ「後備役」ナル文字ヲ削除致シ、更ニ司法部内ノ女監取締ト云フ官職ハ既ニ廢止セラレテ居リマスノデ、同

第二十四條カラ「女監取締」ト云フ文字ヲ削除スルコトト致シマシタ、以上ニ依リマシテ大體本案ノ説明ヲ終リマシタガ、尙詳細ノ點ハ御質問ニ應ジマシテ御答ヲ申上ゲタイト存ジマス、何卒御審議ノ程御願ヒ申上ガマス

○委員長(公費廳司信輔君) ソレデハ此ノ三案ニ付キマシテ、御質問ヲ御願ヒ致シマス

○岡喜七郎君 此ノ法案ニハ直接關係ナイコトデスガ、大體國庫ノ恩給ハドウ云フ風ナ増加率ニナツテ居リマスガ、最近ノ増加率ヲ御示シ下サルヤウナ表デモアリマスレバ拜見シタイ、チヨット今此ノ表ヲ拜見シテ見タノデアリマスガ、昭和十一年カラ十五年ノ額ガ出テ居リマスガ、大變ナ増加率ニナツテ居ルヤウニ見受ケマス、無論是ハ間違ヒハナイ譯デスナ、今一ツ、恩給ノ幾分ヲ減給サレルコトニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ凡ソ金額ハドノ位ナンデスカ、減給金額ノ高ハ、何カ御調ニナツテ居ルモノガアリマスレバ……

○政府委員(平木弘君) 恩給ノ一部停止ノ問題ハ、現在ノ恩給法ニ若年停止ト高額停止ト兩方ノ規定ガゴザイマス、若年ノ停止ハ、御承知ノヤウニ四十歳未満ノ者ハ八分ノ一、三十五歳未満ノ者ハ六分ノ一、三十歳未満ノ者ハ四分ノ一ト云フヤウナ規定ニ依リマシテ、恩給ノ一部ヲ停止シテ居ルノデアリマス、併シ是ハ昨年多少増率致シマシタガ、其ノ該當者ガ主トシテ軍人ノ下士官デアル關係上、經過規定ヲ設ケマシテ、例ヘバ昨年ノ改正デアリマスレバ、昨年ノ改正ノ時ニ在職シテ居ル者ニハ適用シナイト云フ規定ヲ設ケタノデアリマス、昭和八

年ニ此ノ規定ヲ設ケテ居リマス關係上、現在該ウナ規定ヲ設ケテ居リマス關係上、現在該當者ハ非常ニ少イノデアリマス、唯昨年ノ規定改正ヲ致シマシタ以後ニ初メテ就職致シマシタ者カラ適用シマスカラ、今後ハ該當者ガ多クナルコトト思ヒマスガ、現在デハ該當者ガ非常ニ少イ、從ヒマシテ其ノ金額ト申シマシテモ、殆下是ハ現在ノ所デハ言フニ足リナイヤウナ少額デゴザイマス、ソレカラモウ一ツノ方ノ恩給ノ停止ノ問題ハ、所謂高額所得ノ停止ノ問題デアリマス、此ノ問題モ昭和八年ニ恩給法ヲ初メテ設ケタノデゴザイマスガ、昨年議會ノ御協賛ヲ得マシテ、此ノ停止率ヲ増加致シタノデアリマス、其ノ結果、該當者ガ大體二千四百人デゴザイマセウカ、金額ト致シマシテ年額百萬圓位、正確ナコトハチヨット申上ガ兼ネマスルガ、大體ノ所百萬圓位ト、斯ウ云フ風ナ數字ニナツテ居リマス

○下村宏君 丁度今恩給ノ額ノ増加ノ點ニ付テ御話ガアッタノデスガ、此ノ事變後、既ニ十五年ハ二億三千万ト云フ額ニナツテ居リマス、將來此ノ減額ノ方ハ殆下問題ニナラナイデ、増額ト云フモノハ非常ナ率デ増シテ行クダラウト思ヒマス、ソレデ外國デハ、歐洲ノ此ノ前ノ大戰ノ後ナドニハ、矢張り財政ノ整理ト云フノデ、既得權ニナツテ居ル恩給迄相當減額シタヤウナ例スラモアル、併シサウ云フコトハ成ルベク是ハ避ケナケレバナラヌト思フノデスガ、私共嘗テ在職中ニ、日露戰役ノ後デ矢張り恩給ノ非常ニ増シテ來タコトヲ、ドウシテ將來ニ之ヲ或程度救テ行ケルカト云フコトデ、恐ラク當時法制局ヘ出シタ案ナドモ殘ツテ居ルノデハナイカト思フノデスガ、是ト直接關

係ハナイガ、官吏ニハ國庫ノ引去金ト申シマスガ、俸給ノ一部ヲ引下ゲテ居ル、之ニ對シテ、詰リ平時自分達ガ在職中ニ多少トモ引下率ヲ増スコトニ依リテ、將來自分達ノ受ケル恩給ノ足シニスルト云フ意味デアッタノデスガ、其ノ問題ニ付テ、其ノ後法制局ナドノ調査ガドウ云フコトニナツテ居リマスガ、何カ其ノ消息ガアッタラ承知シテ置キタイ

○政府委員(平木弘君) 恩給増加ニ對シマシテ如何ナル對策ヲ講ズルカト云フコトニ付キマシテハ、只今御話ノアリマシタヤウニ、前カラ色々對策ヲ講ジテ居ルノデゴザイマス、其ノ一番大キナ改正ヲ致シマシタノハ、昭和八年ノ改正デゴザイマシテ、其ノ時ニ只今御述ニナリマシタヤウナ、官吏ノ恩給資金トシテ出シマスル百分ノ一ヲ百分ノ二ニ増額致シタノデアリマス、尤モ其ノ時ニハ、サキ申上ゲマシタヤウナ若年者ノ停止デアルトカ、或ハ高額所得ノ停止デアルトカ、其ノ他色々ナ問題ガ取上ケラレマシテ、只今仰シヤイマシタヤウナ對策トシテ講ゼラレタノデアリマス、百分ノ一ヲ百分ノ二ニ致シマシタノモ、其ノ一ツノ對策デゴザイマス

○下村宏君 アノ時ニ此ノ百分ノ一ヲ百分ノ二ニナスツタノハ、アレハ文官ダケノヤウニ思フノデスガ、武官ノ方ハドウナツテ居リマスカ

○政府委員(平木弘君) 武官ノ方ハ、其ノ時ノ規定デ百分ノ一ヲ徵收スルコトニ致シタノデアリマス、詰リ文官ノ方ヲ百分ノ一ヲ百分ノ二ニ、詰リ百分ノ一増加スルト云フコトト均衡ヲ取リマシテ、武官ノ方ヲ百分ノ一新タニ徵收スル、斯ウ云フコトニナツタ

ノデゴザイマス

○下村宏君 今ノ文官ト武官ノ別デ、其ノ引去金ガ八年後ドウ云フ數字ニナツテ居リマスガ、歷年ノ引去ツタ金額ノ數字ヲ一ツ御示シ願ヒタイ

○政府委員(平木弘君) 直グ調べマシテ後デ申上ゲマス

○下村宏君 「ヨーロッパ」アタリノ例ニ較ベルト、百分ノ二ト云フノハマダ寧ロ低イ方デヤナイカト思ヒマス、私共ノハ古イ時代ノ調デアッタガ、百分ノ五位、或ハソレ以上ノ所モアッタヤウニ記憶シテ居リマス、ソレカラ今ドウナツテ居ルカ御調ニナツテ居リマセウガ、「イタリ」ナドハ確カ其ノ外ニ、昇給ヲシタ時ニハ、初メノ昇給シタ月ノ差引ノ増加分ダケヲ矢張り引去ツテ居ル、本人カラ云ヘバ昇給ガ一箇月遅レタト云フダケデ済ム、ソレダケノ差額ガ矢張り引去リニナツテ居ル、是ハ額カラ云ヘバソレ程ノモノデモナイカモ知レナイノデスガ、何ト言ヒマスガ、割合ニ引去ラレル者ハサウ苦痛ヲ感ジナイノデアリマス、唯増額サレルノガ一月遅レタト云フダケノ氣持デ済ムノデスカラ、サウ云フコトヲヤツテ果シテ一年間ニドノ位ノ額ガ捻出サレルカ、之モ或ハ調ベテ見ラレタナラバ多少ノ參考ニナリハシナイカ、尙、國ニ依ッテハ特別ノ賞與ヲ出シタ時ドウダトカ、或ハ年來ノ賞與金ニ付テモ何割ダト云フヤウナ例ヲヤツテ居ル所ガアルシ、ソレカラ更ニ此ノ引去金ニモ、總テヲ通ジテ百分ノ一トカ二トカト言ハズニ、國ニ依ッテハ矢張り額ニ依ッテ段々上ニナル程引去金ノ率ヲ高メテ行クト云フコトモヤツテ居リマスカラ、斯ウシタ方面デ多少ノ彈力ヲ付ケ、又額ヲ殖シテ行クコトガ、此ノ非常ナ財政

ノ膨脹、又此ノ戦後ノ收縮ト云フ上ニ於テ  
餘程考ヘネバナラスノデヤナイカ、ソレデ  
今ノ、後デ私ノ色々御尋ネシタイコトハ、  
早急ニ其ノ數算ノ算出ハ困難ダト思ヒマス、  
其ノ他ニモ尙記憶ヲ辿レバ色々ナ方法ガア  
ラウト思ヒマスガ、又外國デハ初メカラ武  
官ト文官ノ差別ナシニ引去テ居ラレテ、  
ガ多イ、日本デハ文官ダケガ引去ラレテ、  
武官ハ引去ラレナカッタデアリマス、今度  
百分ノ一ヲ一方ヲ増ス時ニ、一方モ新タニ百  
分ノ一トシタ、之モ或ハ同ジヤウニ百分ノ二  
ト云フコトモ考ヘナクチャナラス、ソレカ  
ラ今云フ俸給額ノ増加ニ伴ウテ多少率ヲ變  
ヘテ行ク、サウ細カクスルコトハ非常ニ煩  
雜デセウガ、又是ハ比較的額ハソレ程ニナ  
ラヌト思フノデスガ、矢張り差等ヲ附ケル  
ト云フコトガ却テ公平ニナルノデヤナイカ、  
ソレカラ今ノ増俸ノ時ノ差額ヲ、或ハ一月  
トカ二月分トカト云フヤウナコトデ引去ル  
ト云フコトモ考ヘラレル、今ノ材料ヲ透テ  
戴クト共ニ、サウ云フ點モ若シ調ベテ戴ケ  
バ仕合セト思ヒマス、私見ヲ兼ネテ申上ゲ  
マス、何カ外ニ方法カ案デモ今考究サレテ  
居ルノデスカ

○政府委員(平木弘君) 此ノ恩給増加ニ對

シテドウ云フ風ナ今後對策ヲ講ズルカト云  
フコトハ、是非非常ニ大キナ問題デゴザイ  
マシテ、單ニ事務的ニドウスル斯ウスルト  
云フコトデハ、ナカク解決出來ナイ問題  
デヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデ  
ゴザイマス、併シ事務的ニ申シマシテモ、  
色々ハ眞劍ニ考ヘナケレバイカス問題デ  
アルト云フ風ナコトヲ考ヘマシテ、現在色  
色ナ點ヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ドウ  
モ別ニ新シイ方法ト云フノハ、別ニ考ヘモ

付キマセヌノデ、從來ノ方法ヲドウ云フ  
風ニシテ改善ト申シマスガ、或ハ強化ト  
申シマスガ、強化シテ行クカト云フコト  
ハ、矢張り事務的ニ見マス、此ノ問題ガ  
一番大キナ問題デヤナイカト思ヒ居ルノ  
デゴザイマス、ソレニ付キマシテ何時モ問  
題ニナリマスノハ、此ノ恩給年限ノ延長ノ  
問題デアリマス、之モ先年普通文官ノ十五  
年ノ恩給年限ヲ、二年延長致シマシテ十  
七年ニ致シタ、之モ結局ハ恩給増加ヲ何ト  
カシテ防止シヨウト云フ一ツノ方策デゴ  
ザイマス、然ラバ此ノ恩給年限ヲ更ニ延  
シタラドウカト云フ風ナ論ガアルノデア  
リマスガ、此ノ問題ハ是ハ官吏ノ何ト申  
シマスガ、在職年限トモ關係致シマス非  
常ニ大キナ問題デ、恩給年限ノ十七年ヲ  
假ニ二十年ニ延スト云フコトニ致シマスレ  
バ、或點ニ於テハ役人ハ、官吏ハソレダケ  
テ、マア恩給ガ付ク迄ハ大シタ過チガナカッ  
タラ使ッテヤラウト云フ風ナコトモ、是ハ人  
情デアリマス、サウ云フ點カラ見マス、  
ソレハ官吏ノ爲ニ在職年數ガ長クナッテ有  
利デアルトモ考ヘマスガ、又官吏ノ在職年  
數ヲ長クスルト云フコトハ、日本ノ今迄ノ  
人口問題ト申シマスガ、或程度官界ニ於テ  
モ新陳代謝ヲ必要トスルヤウナ時世ニ於キ  
マシテハ、ドウデアラウカト云フ問題モア  
リマス、今後其ノ點モ多少違テ來ルト思  
ヒマスガ、サウ云フ風ナ色々ナ點モ考ヘマ  
スシ、又其ノ外色々研究スベキ點モアルダ  
ラウト思ヒマスガ、サウ云フ點ヲ考ヘマシ

タ結果、是ハ延スト云フコトガ現在適當ト  
云フコトハ實ハ考ヘラレナイノデアリマス、  
其ノ外ニ、先刻御話ニナリマシタ官吏ノ國  
庫納付金ノ問題デアリマスガ、是ハ軍人ト  
文官トノ兩方ヲ合シマスルト、大體現在五  
百萬圓位、是ハ昨年ノ調デゴザイマスカラ、  
多少違フカモ知レマセヌガ、現在大體五百  
萬圓位デヤナイカト思ヒ居リマス、サウ致  
シマスルト、之ヲ多少殖スト云フコトヲ、  
例ヘバ昨年末ノ推定カラ申シマス、二億  
三千萬圓カラ申シマス、極メテ僅カナモ  
ノデアリマスガ、之ヲ單獨ニヤッテモ餘リ大  
シタ意味ハナイノデアリマス、殊ニ殖スト  
云フコトハ官吏ノ收入ノ減トモ關係致スモ  
ノデスカラ、何カ他ノ問題ト一緒ニ恩給法  
ノ只今ノ御話ノヤウナ問題ヲ、色々ナ點カ  
ラ綜合シテ考ヘタ場合ニ、斯ウ云フ問題ハ  
ヤルベキモノデヤナイダラウカ、斯ウ云フ  
風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、若シヤリマ  
スル場合ニ、只今御話ニナリマシタヤウナ  
昇給トカ、年末特別ノ手當トカ云フ問題ヲ  
捉ヘルト云フコトハ、非常ニ面白イ御意見  
ダト拜聽致シマシタ、其ノ外、先刻御話  
ニ出マシタガ、恩給ノ一部停止、是ハ先刻  
モ申シマシタ通り、若年停止、高額所得者  
ノ停止、斯ウ云フ問題モアルノデアリマス、  
若年停止ニ付キマシテハ、實ハ是ハ現在デ  
モ色々非常ニ問題ガアルノデアリマス、殊  
ニ今度ノ事變ニ因リマシテ、若イ下士官ガ  
大勢恩給ノ付ク者ガ出テ參ルデアラウト思  
ヒマス、大體若年停止ハ陸海軍ノ下士官ガ  
多イノデアリマス、ソレデ從來カラ若イ者  
ニ恩給ヲヤルト云フコトハ宜シクナイ、困ッ  
タ者ニ恩給ヲヤル、或ハ戦死シタ遺族ノ者ニ恩給ヲヤ

ル、是ハ宜シイガ、若イ者ニ恩給ヲヤルト  
云フコトハ、若イ者ヲ却テ情弱ニスル、是  
ハ餘程考ヘテ貫ハナケレバナラスト云フヤ  
ウナコトヲ私共常ニ聞イテ居ルノデアリマ  
ス、サウ云フ意味カラ致シマシテ、昭和八  
年ニ、先刻申上ゲマシタヤウニ、年齢ニ依  
リマスル若年停止ノ規定ガ設ケラレタノデ  
アラウト考ヘルノデアリマスルガ、昨年アタ  
リデモ此ノ規定ヲ實ハ強化シタノデアリマ  
ス、率ヲ上ゲタノデアリマス、率ヲ上ゲマ  
シテモ、併シ現在ノ方法デ行キマスルト、  
ドウモ是ハ私共當局ト致シマシテモ、現在  
ノモノガ是デ十分ダトハ毛頭思ッテ居リマ  
セヌ、思ッテ居リマセヌガ、併シソレモドウ  
モムツカシイ點ガアルノデアリマス、ト申  
シマスルノハ、ア、云フ風ニ若年停止ヲヤ  
リマスルト、例ヘバ病氣ニナツタ場合、ソ  
レモ短カイ病氣トカ何トカデアリマスルト  
簡單デアリマスルガ、病氣ニナツタ者ニ對シ  
テモ同ジヤウニ停止ヲシテ置クト云フコト  
ハ、是ハドウモ非常ニ不適當ナ點ガアルノ  
デアリマス、ソレカト云ッテ病氣ノ者ニ對シ  
テ、ソレデヤ停止ヲ免除スルト云フコトモ  
一應考ヘラレヌコトハアリマセヌケレドモ、  
是ハ實ヲ申シマス、ドノ程度ノ病氣ヲソ  
レデヤ免除シテヤルカト云フ問題ガ非常ニ  
ムツカシイノデアリマス、サウ云フ點カラ  
考ヘマシテ、現在ノ若年停止ノ方法ヲ更ニ  
強化スルト云フコトハ、チヨット非常ニ困難  
ナ問題ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、  
ソレデアリマスルカラ、何カ其ノ外ニ方  
法ハナイカ、尤モ該當者ガ主ニ事變ニ行ッ  
テ還ツタ人デアリマスルカラ、結局ノ處、何  
カ給與ヲ減ラストカ、ソレデ若イ人ノ方ハ  
何カ減ラスト云フ風ナ方法ハナイダラウカ

ト思フテ、實ハ色々研究シテ居リマスルガ、マダサウ云フ具體案ガ得ラレナイヤウナ狀況デゴザイマス、其ノ外マア色々問題ガアリマスルガ、サウ云フ風ナ點ニ色々現在研究ハ進メテ居ル積リナンデゴザイマス

○下村宏君 色々御答辯ニナリマシタガ、有難ウゴザイマシタ、更ニ是ハ恩給局長ナリ、ソレカラ又法制局長官ニモ一ツ御考ヘ置キ願ヒ、ソレカラ又何カ調査ガアレバ承リタイノデスガ、ソレハ今ノ外地ノ加俸ノ問題デス、臺灣ガ領有セラレタ時分ニハ、氣候ノ關係、風土ノ關係、又殆ド家族モ連レテ行ケナイ、又ナカク其處ヘ出掛ケヨウト云フ人ガナイ、サウ云フ色々ナ點デ加俸ニナツタ、又其ノ當時出掛ケタ人達ハ皆命懸ケデ出掛ケタト云フモ宜イノデセウガ、其ノ臺灣ノ加俸ガ例ニナツテ、朝鮮ガ合併サレルト、朝鮮モ亦加俸ニナツタ、處ガ歲月ガ經ツテ今日デハ、朝鮮モ臺灣モサウ加俸シナケレバ人ガ得ラレヌト云フ程今日ノ狀態ハ惡クナイ、非常ニ改善サレテ居ル、又人口モ殖エテ來テ居ル、從ツテサウ人材ヲ得ルノニ自由ヲ感ジナクナツタ、殊ニ朝鮮モ北鮮ノ鴨綠江沿岸ノ冬ノ勤務ナドハ、是ハ相當ヒドイノデセウガ、中部カラ南部ニナレバ、今日デハ内地ノ弘前トカ、旭川ナドノ師團管内ナドト較ベタナラバ、軍人デアラウガ、文官デアラウガ、誰デアラウガ、寧ロ内地ノ方ガ風土、上カラ云ヘバ勤務ガ劇シイ位ニナツテ來テ居ル、從ツテ内地トノ權衡カラ言ツテモ、此ノ加俸ト云フコトガ段々ト其ノ理由ガ薄ライデ來テ居ル、ソコヘ統治ノ上カラ言ツテ、又今迄ノヤウナ事情ト違ツテ來テ居ルノデ、内地人ガ非常ニ加俸ニナツテ居ルト云フコトガ不平等デアルトカドウト

カ云フコトデ、又何カト現地ニ居ル本島人ナリ、半島人ニ對シテハ問題ニナリタガ、更ニ今度滿洲ダガ、滿洲ノ現地ノ人ト内地ノ人トハ大體同ジヤウニナツテ居ルカト思フ、ダカラ問題ハ、一ツノ既得權ト言ヒマスカ、今迄サウナツテ居ルノニ、之ヲ廢メルト云フヤウナコトハ、是ハ情ニ於テ忍ビナイノデ、延イテマア今日ニ及ンデ居ルノデスガ、今ノ内地トノ權衡、或ハ滿洲トノ權衡、又現地ノ統治ノ上、色々ナ點カラ考慮サレテ、唯加俸ダケ引ケバ、引イテ恩給ガドレダケ助カルトカ助カラヌトカ云フ問題ハ、是ハ寧ロ極ク末ノ問題カモ知レナイデスガ、要スルニ統治ノ上カラ言ツテモ、又今言フ内地ナリ、滿洲トノ均衡カラ言ツテモ、加俸ノ問題モ斯ウ云フ時ニ相當考慮サルベキモノデヤナイカトモ思フ、是ハマア寧ロ拓務省ナリ、其他ノ問題カモ知レナイノデスガ、何カ當局デソレ等ニ付テ、何ト云ヒマスカ、問題ガ進行シテ居ルト言フカ、何カ考慮デモサレテ居ルヤウデアリマシタレバ、此ノ議會ニ承知シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(平木弘君) 只今ノ植民地ノ加俸ノ問題デゴザイマスルガ、此ノ加俸ニ該當致シマスルノハ、恩給法デハ御承知ノ通り加算デゴザイマス、恩給法ニ於キマシテハ、植民地ハ一箇月ニ付テ二分ノ一ヲ加算スル、詰リ一年在勤致シマスレバ、一年半在職シタコトニナツテ居ルノデアリマス、併シハ只今御述ニナリマシタト同ジヤウナコトヲ實ハ考ヘマシテ、臺灣ハ領有以來朝鮮ハ併合以來、併合當時ニ於テハ、サウ云フ加算ヲ付ケテ置クコトガ、或ハ妥當デアツタカモ知レナイガ、今日ノ狀態ニ於テハ

既ニモウ文化ノ程度ガ非常ニ違ツテルノデ、是ハ或程度減ラスノガ適當デア、或ハ全廢スルノガ適當カモ存ジマセスガ、或程度減ラスノガ適當デア、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、拓務省、植民地當局ト色々折衝致シマシタ結果、昨年ノ議會ノ御協贊ヲ得マシテ、二分ノ一ヲ三分ノ一ニ減ラシタ譯デアリマス、唯先程モ御話ノアリマシタヤウニ、朝鮮ノ中デモ北ノ方ト南ノ方トデハ非常ニ違フト云フコトハ、是ハ事實デゴザイマスルガ、ドウモ恩給法ノ加算ト致シマスルト、ソレデハ一體何處カラ切ツタラ宜イカト云フ問題ニ付キマシテ、非常ニムヅカシイ問題ガアルノデアリマスルカラ、實ハ朝鮮一帶ヲ同ジヤウナ取扱ニスルト云フコトハ從前ノ通りニシテ居ルノデアリマス、チヨット此ノ際ニ……サッキ資料ノ問題ガアリマシタガ、御答ヘ申上ゲテ置キマス、文官、軍人、教員其ノ他ノ國庫納付金ノ金額ハ大體四百五十萬圓バカリデアリマス、全部デ……

○下村宏君 文官ト武官デハ……

○政府委員(平木弘君) 文官ガ百三十三萬圓餘、武官ガ百五十萬圓餘、教員ガ百五十萬圓餘、警察官ガ七萬圓餘……

○下村宏君 今ノ加俸モ、一ツ臺灣ト朝鮮ノヤツヲ後デ宜シウゴザイマスカラ、ドノ位ニ此ノ加算ノ額ガ、詰リ不斷ノ加算ガナイトシタノト、加算ニナツテ居ル際ト其ノ差額ハドノ位ニナルカト云フコトヲ、急ギマセスカラソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○男爵高崎弓彦君 チヨット御尋ネ致シタイト思ヒマス、サッキ御説明ガアリマシタガ、私チヨット分ラナイ所ガアルノデスガ、是ハ

第四十六條ノ二ノ改正ノ中デ、下士官以下ノ軍人ニ付テ、其ノ者ガ公務ノ爲ニ永續性ヲ有スル傷痍ヲ受ケ、又ハ疾病ニ罹リ、不具癡疾ノ程度ニナリマセヌデモ、勅令ノ定メル程度ニ達シマシテ、且失格原因ナクシテ、之ガ爲ニ其ノ職ニ堪ヘズニ一年以内ニ退職シタトキ云々トアリマスガ、是ハ少シ具體的ニ話シテ戴ケナイモノデセウカ

○政府委員(平木弘君) 此ノ四十六條ノ二ハ、公務員ガ(公務ノ爲ニ永續性ヲ有スル傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具癡疾ノ程度ニ至ラサルモ)、此ノ不具癡疾ノ程度ト申シマスノハ恩給法デハ增加恩給ノコトヲ意味シテ居リ、ソレデ增加恩給ニハ達シナイガ、永續性ノ傷痍疾病デゴザイマスカラ、是ハ傷痍年金ヲ支出スルノニ該當スル病氣ノコトデゴザイマス、ソレハ恩給法ノ施行令ヲ御覽願ヒマス、三十六頁ノ、施行令ノ第二十四條ニ書イテ居リマス特別項症カラ、第七項症迄ノガ增加恩給デアリマス、是ハ傷病ト致シマシテハ最モ程度ノヒドイモノ、ソレニ該當致シマセヌモノソレヨリ程度ノ低イノハ二十四條ノ二、三十八頁ノ二十四條ノ二、此處ニ傷痍年金ヲ支給スベキ傷病程度ヲ分ツテ四款ヲ書イテアリマス、ソレデ話ガ元ニ戻リマスガ、四十六條ノ二ニ書イテアリマス「不具癡疾ノ程度ニ至ラサルモ勅令ノ定メル程度ニ達シ」ト申シマスノハ、傷痍年金該當、施行令ノ二十四條ノ二ニ該當スル病氣ニ罹ッタ者ガ失格原因ナクシテ、詰リ懲戒免官トカ云フコトニナリマス、ト、恩給ハ一切ヤリマセスガ、サウ云フコトガナシニ、普通ニ退職シタ場合、此ノ場合陸海軍デハ、例ヘバ小指ナラ小指ヲ一本無クスルト云フ場合ニハ、ソレニ依ツテ傷痍年金

第四十六條ノ二ノ改正ノ中デ、下士官以下ノ軍人ニ付テ、其ノ者ガ公務ノ爲ニ永續性ヲ有スル傷痍ヲ受ケ、又ハ疾病ニ罹リ、不具癡疾ノ程度ニナリマセヌデモ、勅令ノ定メル程度ニ達シマシテ、且失格原因ナクシテ、之ガ爲ニ其ノ職ニ堪ヘズニ一年以内ニ退職シタトキ云々トアリマスガ、是ハ少シ具體的ニ話シテ戴ケナイモノデセウカ

第四十六條ノ二ノ改正ノ中デ、下士官以下ノ軍人ニ付テ、其ノ者ガ公務ノ爲ニ永續性ヲ有スル傷痍ヲ受ケ、又ハ疾病ニ罹リ、不具癡疾ノ程度ニナリマセヌデモ、勅令ノ定メル程度ニ達シマシテ、且失格原因ナクシテ、之ガ爲ニ其ノ職ニ堪ヘズニ一年以内ニ退職シタトキ云々トアリマスガ、是ハ少シ具體的ニ話シテ戴ケナイモノデセウカ

ヲ支給スルノデアリマスガ、其ノ場合現在、

現在ト申シマスガ、事變前迄ハ陸海軍ニ於  
キマシテハ、大體ニ於テ兵役ヲ免ジテ居ッ  
ノデアリマス、處ガ今度ハ常時多數ノ兵力  
ヲ保有シテ居ラナケレバイカスト云フコト  
ニナリマスナラバ、例ヘバ小指一本無クシ  
タト云フ者ハ兵役ヲ免除シナイ、斯ウ云フ  
コトニナル、サウ致シマスト今迄小指ヲ無  
クシタ者ハ傷病年金ヲ貰ッテ居リマシタケ  
レドモ、今後ハ傷病年金ヲ貰ヘヌト云フコ  
トニナリマス、今ト非常ニ不公平ニナル  
モノデスカラ、今迄トノ間ニ不公平ノナイ  
ヤウニ、矢張り從來通りニ傷病年金ヲ貰フ  
ヤウ恩典ニ與カラセルノガ適當デアルト云  
フコトデ此ノ條件ヲ削除スル、斯ウ云フコ  
トニ致シタイト思フノデアリマス

○男爵高崎弓彦君

モウ一ツ伺ヒタイノデ  
スガ、茲ニ戴イタ参考資料ノ「最近四年間各  
年末現在種類別恩給總額及人員増加趨勢」  
ト云フモノガアリマスガ、普通恩給ト、増加  
恩給ト、傷病年金ト、扶助料、是ハ各別ニ  
アツテ、是ダケヲ合セテ合計ガスルカ、政府  
カラ補助ヲ受ケルヤウニナルノデアリマス  
カ、又ドコカニ入ッテ居テ、其ノ内譯ニナッ  
テ居ルノデスカ、チヨット能ク分リマセヌ  
カラ……

○政府委員(平木弘君)

一番初メノ表ニア  
リマス昭和十五年ノ二億三千萬圓ト書イテ  
居リマス、是ハ恩給ノ内譯デゴザイマス  
○男爵高崎弓彦君 サウシマス、此ノ上ノ奴  
ト云フ判ガ捺シテアリマスガ、此ノ上ノ奴  
モ矢張り秘ナンデアリマスガ、下ニハ秘密  
ノ祕ガアリマスガ、總額ハ言ッテモ構ハナ  
イト云フ意味デスカ、内譯ハ言ッテハイカ  
ス……此ノ頃ハ大變ヤカマシクナリマシタ

カラ……

○政府委員(平木弘君) 此ノ内譯ノ方ハ、  
實ハ増加恩給關係デアリマス、カ、傷病年  
金關係デアリマス、カト云フノハ、陸海軍  
ノ今度ノ産業ノ病傷者其ノ他ガ是デ分ルノ  
デアリマスカラ、サウ云フ意味デ成ルベク  
一ツ秘密ニシテ戴キタイト云フノデアリマ  
ス、是ハ大部分ニナリマス、カト云フト、何ノ  
コトカ分ラナイカラ……サウ云フ譯デアリ  
マス

○男爵高崎弓彦君

分リマシタ  
○子爵錦小路頼孝君 文部省ノ方ノ質疑ヲ  
致シタイト思ヒマスガ、此ノ文部省カラ御  
出シニナツタ此ノ改正法律案ヲ拜見シマス  
ト、教員ト云フ言葉ヲ職員ト御改メニナッテ  
居ル所ガチヨイアルヤウデアリマスガ、  
是ハドウ云フ譯デアリマセウカ、何カ其ノ  
學校ニ於テ教員以外ノ職ニアル、例ヘバ書  
記トカ、事務員トカ、サウ云フモノモ含メ  
タ御積リナンデゴザイマセウカ、チヨット其  
ノ點ヲ簡單ニ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(菊池豊三郎君)

實ハ今度ノ國  
民學校令ノ規定ノ體裁ノ出來方ガ職員、學  
校構成員ト云フモノヲ纏メテ規定致シマス  
關係上ソレヲ引用シテ參リマシタモノデア  
リマス、デアリマスカラ、是ハ職員ト申シマ  
シテモ今御話ノヤウナ書記トカ、事務員等  
ハ是ハ入りマセヌ、職制ノ上ニ於テサウ云  
フモノハ認メテ居リマセヌカラ、其ノ結果  
入ラナイノデアリマス、即チ訓導、准訓導、  
ソレカラ先程申上ゲマシタ養護訓導、所謂  
代用教員、是ハマア俗稱致シテ居リマスガ、  
サウ云フヤウナ教員ト云フモノガ總テ之ヲ  
包含セラレテ居ルノデアリマス、書記トカ、  
事務員等ハ包含致シテ居リマセヌ、ソレカ

ラ此ノ職員ト云フ使ヒ方ヲ致シマシタノハ、  
他ノ例ヘバ公立學校職員制度、ソレカラ公  
立學校官等等級令ト云フヤウナ、サウ云フ立  
法技術上ノ名稱ヲ用ヒテ、ソレヲ援用シテ  
參リマシタ譯ナンデアリマス、實際ノ實質  
ニ於テハ現行ノ規定ト内容的ニハ同ジヤウ  
ニ一致スルノデアリマス、大體左様ニ一ツ  
御了承願ヒタイト思ヒマス

○子爵錦小路頼孝君

今ノ御説明デ能ク分  
リマシタガ、モウ一ツ、先程仰シヤイマシ  
タ養護訓導ト云フノハドウ云フモノデゴザ  
イマセウカ、チヨット御説明願ヒタイノデ  
スガ

○政府委員(菊池豊三郎君)

養護訓導ト申  
シマスノハ、今迄通俗ニハ養護婦ト稱ヘラ  
レテ現ニ市町村小學校等ニ設ケラレテ居リ  
マシタモノデゴザイマス、是ハ法制上ニ於  
テノ建前ガハッキリ致シテ居リマセヌ、其ノ  
者ノ職責、待遇等ガ明瞭ニ法制化サレテ居  
リマセヌノデアリマス、今回之ヲ國民學校  
令ニ於テ整備シテ參リマス場合ニ養護婦ト  
云フ名稱ヲ養護訓導ト云フ名稱ニ致シマシ  
テ、サウシテ小學校ニ之ヲ設ケルコトガ出  
來ルト云フヤウニ法制上ニ明カニ致シタイ  
ト云フ趣意デ今度定メラレレ譯デアリマス  
ガ、唯是ハ今回ノ教育ノ方針、建前ガ學校  
ニ於ケル兒童ノ身體、體育ノ問題、衛生訓  
練、詰リ學校ノ授業ヲ助ケルト共ニ一方ニ  
於テハ子供ノ身體ノコトヲ考ヘテヤル、養  
護ト云フコトヲ特ニ注意ヲ拂フト云フ意味  
ニ於キマシテ平素カラ衛生、訓練其ノ他疾  
病ノ豫防トカ、色々サウ云フ日常ノ注意  
ヲシテ參ル、其ノ方面ヲ擔當シテサウ云フ  
注意ヲ學校ニ於テ拂ッテ行クト云フ必要ナ  
職員ト致シマシテ考ヘタノデアリマス、是

ハ一面ニ於テサウ云フ譯デゴザイマスカラ、  
教授ト相並ンデ大事ナ養護ト云フ問題ヲ擔  
當致シマスカラ、從ッテ名前ノ方モ看護婦ト  
言フヨリモ養護訓導、詰リ或意味ニ於テ先  
生デアルト云フヤウニ名稱付ケタ方ガ宜カ  
ラウト云フノデ養護訓導ト云フヤウナ名稱  
ニ致シマシタ譯デゴザイマス、唯現在ニ於  
キマシテハ全國ノ各小學校ニ總テマダ設置  
セラレテ居ルト云フヤウナ狀況ニハ達シテ  
居リマセヌ、是ハ現在ニ於テハ市町村ガ任  
意ニ置キ得ルト云フヤウナ狀態デゴザイマ  
ス、今後漸次是モ獎勵シテ參リタイト考ヘ  
テ居リマス、唯今回國民學校令ニ於キマシ  
テハ養護訓導ヲ置クト云フコトト、其ノ名  
稱ト待遇ヲ法制ノ上デ明カニスル、サウ云  
フ趣意デ規定サレル豫定ニナッテ居ル譯デ  
アリマス

○子爵錦小路頼孝君

御説明デ能ク分リマ  
シタ、ソレカラ私後ニナリマシタケレド  
モ、材料一ツ若シ出來マシタラ戴キタイ  
デスケレドモ、ソレハ最近ノ師範學校入學  
者ノ家庭狀況、チヨット是モ表シ方ガムツ  
カシイカモ知レマセヌケレドモ、マア家長  
ノ職業デスナ、入學者ノ家長ノ職業ノ調査  
ガ御出來ニナッテ居リマシタラ戴キタイト  
思フノデアリマスガ、若シ直グ御出來ニナ  
ラナイヤウデシタラ、私戴カナクテモ宜シ  
ウゴザイマス

○政府委員(菊池豊三郎君)

承知致シマシ  
タ、能ク取調ベマシテ……

○委員長(公爵鷹司信輔君)

本日ハ此ノ程  
度ニ止メマシテ次會ニ引續キ質問致シタイ  
ト思ヒマス、ソレデハ本日ハ是デ散會致シ  
マス  
午前十一時五十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵鷹司 信輔君  
副委員長 下村 宏君  
委員

子爵錦小路頼孝君  
岡 喜七郎君  
男爵高崎 弓彦君  
塩田 團平君  
米原 章三君

政府委員

内閣恩給局長 平木 弘君  
法制局長官 村瀬 直養君  
文部次官 菊池豊三郎君  
文部省普通學務局長 中野 善敦君  
教學局部長 堀池 英一君